

パブリックコメントについて

- 1 意見募集の実施期間 令和4年7月21日～令和4年8月31日
- 2 寄せられた意見数 8人(11件)
- 3 意見の概要と市の考え方

(1) 体育館外周にランニングコースの設置を願います。

・長根グラウンドについて

YSアリーナの建設に伴い、それまで多くの市民が利用していた陸上競技グラウンドが廃止されました。雨が降ると水浸しになるような、いまどき土のグラウンドでしたが、幅広い年代の市民ランナーや八戸高校の陸上部、グラウンド内を散歩する人など多くの市民に利用されました。春になると斜面に植えられた桜が満開になり、それも人々の目を楽しませました。長根グラウンドは身近なスポーツを気軽に利用できる施設であり、また競技者どうしが自然に集い、情報交換を行うコミュニケーションの場でもありました。

・青森市・新総合運動公園について

先日、とある機会に青森市矢田にある、新総合運動公園に行きました。青森市のまちはずれ、みちのく有料道路を下りたあたりの緑豊かな森の中にある運動公園で、陸上競技場のまわりにランニングコースがありました。遊具がある広場を見ながら緩やかに上り、補助競技場を過ぎて緩やかに下るコースで、気持ちよく走れるように設計されていました。

補助金を使って、プロ選手が使う施設を作ることは立派なことだと思います。ただ、プロ選手以外の大半の市民が利用できる施設もあれば良いのかな、と考えております。

(市の考え方)

・基本構想(案)では、「11 建て替えに向けて配慮すべき事項(5)配置」において、体育館の配置は公園内の他の施設との動線も踏まえ、検討することとしており、ランニングコースについては、基本計画策定以降の段階で、新たな体育館の配置を踏まえながら、検討する意向です。

(2) 競技場の大きさについて

私はテニスで体育館を使用しています。道具の進化で、ひと昔より球がよく飛び後の壁にラケットが当たることがあります。怪我にもつながることだと思います。

(3) 掃除について

使用后、モップをかけますが、柱等でモップがかけづらくなれないようにしてほしい。綺麗にする事は施設のためにもなると思います。

(市の考え方)

- ・競技場の大きさについて、基本構想(案)では、メインアリーナをバスケットボールコート3面分程度、サブアリーナを1面分程度と想定しており、テニスのアウトコートを含む競技場のサイズは、バスケットボールコート1面に収まる広さであることが推計されることから、広さについては特に問題がないものと理解しています。
- ・また、柱等の掃除の件は、基本計画策定以降の段階で検討する意向です。

(4) 自動販売機がほしい。

とくにアイス。

(市の考え方)

- ・新たな体育館整備後の運営の段階で検討します。

(5) 体育館の中が暗くならないように照明を明るくしてほしいです。

夏、体育館がすずしいとうれしいです。

(市の考え方)

- ・照明設備については、基本計画策定以降の段階で検討することとしておりますが、多様なスポーツの照明要件を満たすよう検討する意向です。
- ・また、空調設備についても、基本計画策定以降の段階で検討する意向です。

(6) 床に使われる素材を塩化ビニールシートにしてほしい。

塩化ビニールとはフローリングよりも柔らかくグリップ性に優れ軽度の弾力性があり膝や腰の負担を和らげる働きがあります。(バドミントン競技者)

(7) 天井と壁の色を白以外の配色にしていきたい。

理由はシャトルとどうかしてしまい非常に見づらいためです。県大会や全国大会のみならず国際大会をする上で大切な内容だと考えます。(バドミントン競技者)

(市の考え方)

・基本計画策定以降の段階で検討する意向です。

(8) 現在の位置又はそれに近い位置に

何故なら、平成 25 年当時の長根公園再編プランに近いものにするために。

体育館利用者に不便をかけないために、今の体育館を利用しながら建設するから、旧リンクの場所に建設するはおかしい。敷地に余裕があるから既存住宅に住みながら新しい住宅を建てるとは訳が違う。あまりにも安易な考えである。そんなことよりはるかに大切なことが有る。みんなのためにセントラルパークとすべきです。旧リンクの場所は池とし体育施設と無縁の人々のためにも都市計画の面でも建物は避けるべき。池のほとりに浮かぶ体育館を建てればいい。期待する体育館ができるなら利用者は 2、3 年待てるはず。ついでに、当初の再編プランは財源確保が困難で全く違ったものになったようですが、屋内スケート場建設はどうなのですか。諦めないで野球場等に移転してください。

(9) 公園周辺の歩道の整備をしてほしい。

新しい体育館は絶対に旧リンクの場所には建てないものとしたうえで、体育館建設のおりには周辺も整備されるのでしようから是非考えて頂きたい。現在の長根公園周囲の歩道は余りにもお粗末です。見かけは整備済みみたいな状態ですが、歩行者(障がい者、年少者、車いす、乳母車等を含めて)が車道を横断したり信号待ちしなければ半周できません。車椅子、乳母車で一周できる幅広い歩道を整備してください。水路があるのも問題のようですが、なぜそれを避けるのですか。水路の上を利用するとか。

歩道が無い側を歩く人を見かけました。何故かいずれも女性でした。かつては歩道があったはずと思って歩いていたのかは分かりませんが。ここに歩道が必要です。立派すぎる屋内スケート場と新しいたぶん立派な体育館に相応しい歩行者道路の整備をお願いします。

(市の考え方)

- ・平成 31 年 3 月 29 日策定の八戸市体育施設整備に関する基本方針において、新たな体育館については、利用者の利便性を確保するため、現在の体育館を使用しながら工事を行えるよう、長根公園内の別な場所への配置を検討することと規定しており、今年 1 月に、新たに八戸市体育施設整備検討委員会を立ち上げ、その基本方針に基づき、体育館の建て替えについて検討しています。
- ・また、長根公園再編プランにおいて、長根公園外へ移転を行うこととしていた野球場、プール及び弓道場は、その後策定の八戸市体育施設整備に関する基本方針において、新たな用地の確保に伴う財源確保等の課題が多いことから、移転しないこととしています。
- ・なお、公園周辺の歩道の整備については、平成 27 年度に河川管理者である青森県と歩道拡幅に向けた協議を行った結果、治水上の安全性、維持管理及び河川環境上の観点から、土橋川を活用した歩道設置は不可との回答を示されたことから、隣接する住宅地の生活道路としての役割を考慮して、公園側の旧歩道を住宅側へ集約し、幅員 2.5m の片側歩道で整備したものです。

(10) 基本構想(案)について

まず、平成 25 年 2 月に「長根公園再編プラン」が提示されていたと思うが、短期計画で屋内スケート場を、中期計画でスケート跡地にセントラルパーク構想、長期計画では体育館移転後にセントラルパーク拡大と記載がされていた。「長根公園再編プラン」がいつの間にか頓挫してしまったのか？疑問に思います。「長根公園再編プラン」から既に 10 年弱が経過して、その後、耐震診断で倒壊・崩壊の危険性があると診断を受け、体育館を建て替え・移転の方向になったことは喜ばしい。

基本構想策定の趣旨について、「八戸圏域連携中枢都市圏内」の中枢を担う体育施設と記載がありますが、体育館の客席数があまりにも少なく感じます。青森市の体育館の座席数は確か固定席 3,368 席、移動席 1,980 席だったと思います。八戸市が構想している座席数はメイン 1,500 席、サブ 500 席だとかなり少なく感じます。「八戸圏域連携中枢都市圏内」を掲げている八戸市ならば、

全国大会規模を開催できる最大でも 5,000 人規模の体育館施設を計画してもよいのではないかと。令和 4 年 1 月に八戸市体育施設整備検討委員会を設立し市内のスポーツ団体関係者や有識者によるアンケート調査結果によると全国大会規模を開催できる施設の回答が多く、今後よりよい体育館になるには、初めの計画段階から、全国大会が開催出来るような体育館を建設されることを希望したい。また、八戸市は小規模の施設が多く、後付けで改修など対応していることが多いように感じる。多賀サッカー場は、建設されたときは照明器具がなく、後に予算計上をして追加で建設した記憶があります。観客数についての意見になりますが、ご議論の程よろしくお願い致します。

(市の考え方)

- ・長根公園再編プランについては、平成 31 年 3 月 29 日策定の八戸市体育施設整備に関する基本方針において、社会情勢の変化等を踏まえ、長根公園外へ移転を行うこととしていた野球場、プール及び弓道場を移転しない等の見直しを行っています。
- ・また、基本構想(案)では、体育館の主な日常時の利用はスポーツ活動とし、非日常時は、スポーツ施設としてだけでなく、各種コンベンションの開催等多目的利用が可能な施設となるよう必要な機能を整備することとしており、観客席については、これまでの地域プロスポーツチームの県内の集客数等を参考に、日常時は、固定席(2,000 席以内)で対応し、全国規模の大会開催等の非日常時は仮設席を増設し、対応することを想定しています。

(11) 基本構想案の趣旨に大いに賛同いたします。

各体育施設の改修・再配置により、子供から大人だけでなく、障害を持つ方々など、市民の誰もが気軽に集い、自らスポーツを楽しんだり、プロスポーツの観戦を楽しむことで、地域のスポーツ振興の中心的な施設になることを、期待しております。また、昨今は、日本各地で災害が多発し、地球環境問題も大きく取り沙汰されておりますので、改修後の施設が、地域防災の中核拠点として活用できることや、自然エネルギーを活用した環境にやさしい施設となることを期待いたします。

(市の考え方)

- ・基本構想(案)では、「11 建て替えに向けて配慮すべき事項(1)ユニバーサルデザイン」において、多様な世代の誰もが利用しやすい体育館となるよう配慮するとともに、「(2)環境負荷の低減」において、可能な限り環境負荷の低減を図るよう配慮することとしています。
- ・また、「(6)防災機能」において、防災面における役割について検討する

こととしています。